



クリスマスおめでとうございます！



「本当のクリスマス」

2000年以上前、ユダヤの人々が「待って、待って、待ち望み」ようやく迎えた最初のクリスマスは大きな喜びに包まれたものでしたが、電飾などの華やかさも豪華さもない、暖房さえもない寒い馬小屋で、とっても静かなものだったのではないのでしょうか。

弱い人間の罪を全て背負い十字架にかかるために生まれてきてくださったイエス様のお誕生、そのイエス様を与えてくださった神様に感謝する本当のクリスマス。深い喜びは、時には静かに身体の奥底から立ち上がってくることがあるように思います。

様々な状況に一喜一憂し、振り回されてしまう私達はとても弱い存在ですが、神様はいつも変わらずそばにいてくださいます。そのことを覚え、本当のクリスマスを共に喜びましょう。



「待ち望む」

一か月にわたるアドベントの期間をご一緒に過ごさせていただきました。多くの準備とクリスマスを迎える喜び。保護者の皆さまに心から感謝いたします。父母の会を通してのクリスマス準備、証しの会、聖書を読む会、賛美の会、クリスマス讃美歌練習、園芸の会のリース飾り、ハンドメイドさんの玄関の飾り、手話の会の学び、くるみスタッフ、また様々な保育の場面でのお手伝い父さん母さん、そして8日には驚くほど多くの保護者の皆様が寒い中、落ち葉掃きなどのご奉仕をしてくださいました。こういった保

護者の皆様のお働きは、50年という長い園の歴史の中で脈々と受け継がれていることですが、どの活動も始まりは歴代の保護者の皆様の「園と共にやりたい！」というお気持ちから始まり、動いてくださった業。毎年の様に書いていますが、この園は皆様に支えられている幸いに包まれていると実感しています。本当に感謝いたします。

こども達も礼拝で4本のろうそくに一本ずつ灯が灯されるのを見てきました。1週間で1本、というスピードは現代社会の中ではなんとゆっくりに感じられることでしょう。普段の生活ではそのような時間の区切りで何かを待つことは少ないのではないかと思います。だからこそ、こども達は礼拝の度に灯されるろうそくの明かりを「今日は2本」「今日は3本だね」と固唾をのんでじっと見ていました。1本、1本と増えていくろうそくの明かりを黙って見つめるその姿に2000年以上前のユダヤの人々が救い主の誕生を「待ち望む」姿が重なります。

幸いなことに現代に生きる私達は当時のユダヤの人々がいつ生まれてくるのか知らなかった救い主イエス様のお誕生を知っています。そのことに感謝してクリスマスを迎えたいと思います。



贈る喜びを感じる「クリスマス」プレゼント

クリスマスからお正月へと、この時期「もらう」ことの多いこども達ですが、園では大好きな人に心をこめて贈る喜びを知ってほしいと考え、おうちの人へのプレゼントを作りました。心をこめて作ってきた過程はそれぞれの学年のあつまりの記事をお読みください。大好きな人に喜んでいただける幸せを経験できる時となりますように。



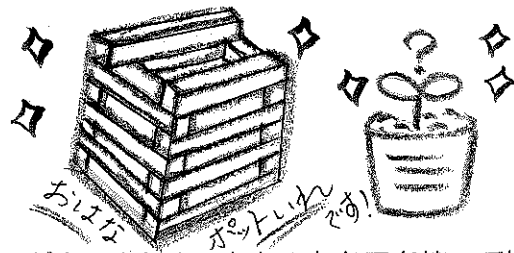
2学期もありがとうございました！

この時期、各教会ではクリスマス礼拝やお祝いの会を行います。コロナ禍にあっても様々な工夫と対策をし喜びを分かち合う準備を進めている教会もあります。この機会に是非お近くやお友達の通う教会をお訪ね下さい。

2学期を皆様と歩ませていただいたこと、お支えいただいたことに心からお礼を申し上げます。皆様の年末年始が神様の祝福に満たされた温かな時間となりますようお祈りいたします。

児玉 芽 

年長さんからのプレゼントは…



☆クリスマスカードを描きました

「クリスマスカードだからクリスマスっぽいものが良いよね！〇とか△とか□を使って描くと描きやすいけどどんなものがあるかな？」と聞くと、「プレゼント」「星」「クリスマスツリー」色々アイデアが浮かんでくる年長さん。みんな楽しそうに近くのお友だちとおしゃべりしながら、さらさら描いていきます。絵を描くことが苦手だった子も、次から次へと描いていく姿に成長を感じました。いつの間にこんなに描けるようになったのだろう、子どもってやっぱりすごい力を持っているなと改めて思いました。トナカイやサンタクロースなど〇や△などでは描けないものもどんどん描き、しかも様々な色のペンを使って描くため、とっても綺麗！！子ども達のセンスは抜群！！心がウキウキするようなステキなカードに仕上がりました。

☆釘打ちとボンド付けに挑戦！！

一枚の板と14本の木の棒を使って箱作り。棒の数を数えるのもバッチリ！！さすが年長さんです。そしてトゲが刺さっておうちの人ケガをしないように、一本一本丁寧にやすりをかけました。その後ボンドをつけ、裏側には4本の釘を打ちました。スムーズに釘を打つ子もいれば、「あっ、釘が曲がっちゃった！」「なんか全然釘が入っていかない…」「手を打っちゃった」などなど時間をかけて作る子も大勢いました。でも年長さんってすごいなと思ったことは、誰も“もうやめた！”“やりたくない！”と諦める子がいなかったのです！！一つのことを最後までじっくり取り組むことができるようになったのも、今まで様々な活動を通し、上手いかなかったことや、途中で嫌になってやめたこと、もう一度挑戦して成功したことなど、たくさんの経験を積んできたからこそなのではと思います。

☆ステキなネーミングを考えよう！

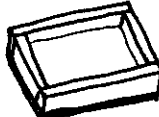

製作した箱には、お花の球根を添えてプレゼントすることにしました。お友だちと一緒にじゃがいもを育てた時の喜びを、ぜひ今度はおうちの人と…という願いも込めました。お花のポットを箱の中に入れるということから、子ども達からのネーミング案には『植木鉢』『球根入れ』『花瓶』『ミステリーポット』『ミラクルポット』などの20個以上の案。これまでたくさん話し合いを経験し、手を挙げて積極的に意見を言える子が増えました。多数決で、名前は『お花ポットいれ』に決定！！何だか今年の年長さんらしい真っ直ぐなネーミングです♪「花が咲くのは、みんなが小学生になる頃だよ」という話をしました。どんな花が咲くのかは子ども達も知りません♡ぜひ球根を子ども達と一緒に植えてくださいね。

子ども達が、おうちの方を想いながら一本一本心を込めてボンドを付け、釘を打ったプレゼントです。お花を育てた後も未永く使っていただけたらと思います。

※ポットの下には水の受け皿がありません。ご家庭でご用意していただけると嬉しいです。

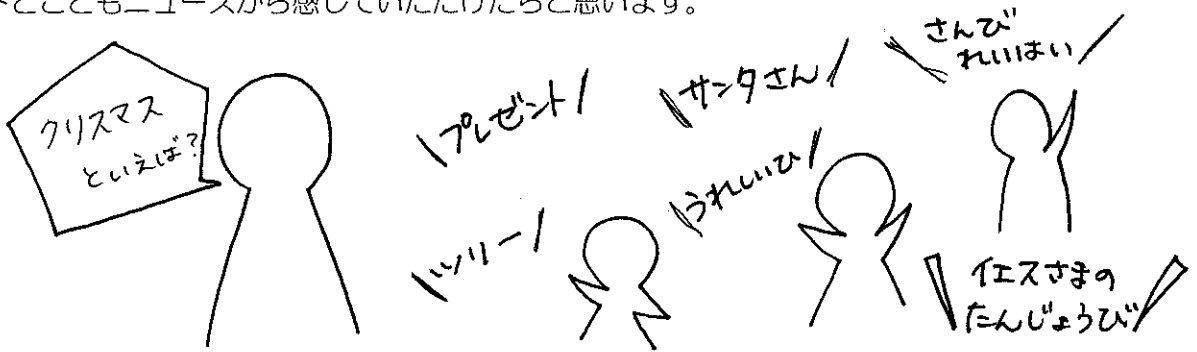
(Aki & Rina)

年中さんからのプレゼントは...

おぼん  と カード  です!

アドベントIの礼拝で、「クリスマスの一番のプレゼントはイエスさま」というお話を聞いた子どもたち。わたしたちのことを“大好き”な神さまが、イエスさまというプレゼントを贈ってくださったように、わたしたちも“大好き”な人たちにプレゼントを贈りたいね！という話を年中あつまりでもしました。“大好き”な人たち・プレゼントを贈りたい人たちって誰だろう？という問いかけに、お父さん、お母さん、おじいちゃんおばあちゃん、きょうだい、ペットなど“家族”への愛があふれていました。

大好きな家族のために少し難しいことにも挑戦してみよう！そんな子どもたちの姿をプレゼントとこどもニュースから感じていただけたらと思います。



☆クリスマスカード☆

今回のカードは普段あまり使わない、濃い色(黒や紺色)の画用紙に絵を描きました。白や明るい色の紙では沈んでしまう白や黄色、灰色のクレパスが、濃い色の上では「わあ！なんかキレイ」「こんな色になったよ！」といつもと違う発色に目を輝かせていました。中には何色も重ねることで本物の光や木のように見えることを発見した子どもたちもいました。普段から慣れ親しんでいるクレパスですが、画材を少し変えて、新しい表現を楽しみました。

家族の日のプレゼントから○△□の形を使って描く経験を繰り返してきた年中さん。今回のカードでも、「○2つで雪だるま」「△でツリーになる！」「□はプレゼントかなあ」とクリスマスに困んだものを思い浮かべていました。また、カードには聖句と名前の入ったシールが貼ってありますが、どこにどんな風にシールを貼るか...それも子どもたちに考えてもらい、“クリスマス”を意識してカード全体をデザインしています。



おぼん、こうやって作ったよ！

☆やすりがけ☆

板1枚、長い棒材2本、短い棒材2本…計5つの木材にやすりをかけました。年中あつまりで、やすりがけをするのは2回目です。やすりがけの方法やコツを子ども達は覚えているかな…「角を丸くするんだよね」「ザッ、ザッて音がするようにこするんだよ」「ツルツルになったか、触って確かめて！」

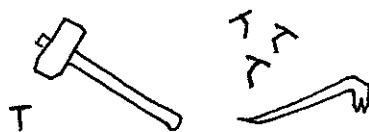
前の経験をよく覚えていて驚きました。やすりがけは根気のいる活動でもあります。(お盆ができたら…)と贈る家族や使っている自分を思いながら、やすりをかける工程も楽しんでほしいと願っていました。実際、子ども達は木材が削られ、きれいになっていくことを喜び、出来上がりを期待しているようでした。



☆ボンドつけ☆

板からはみ出さないように貼る！がポイントでした。出来上がりを見て、棒材の長さや組み合わせ方を考える時間も大切にしました。そして棒材を貼る順番に気をつけて、ボンドつけを行いました。

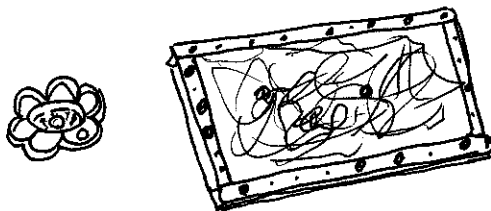
子ども達は、端から端へ丁寧にボンドをつけ、貼っていました。ボンドの量が多過ぎて、押さえた途端にズれてしまう…なんていう子もいましたが、これが次へとつながり、2本目の棒材からはボンドの量に気をつけている様子がありました。経験を活かしていると嬉しく思ったエピソードです。



☆釘打ち☆

4本の釘打ちに挑戦しました。

初めて釘打ちをする子ども達もいるので、金づちの扱い方や釘の持ち方などを話してから始めました。最初の1本はキリで穴を開けておいたところから打ったので、どの子もサッと打ち込むことができました。その後は、3本の釘をサッと打ち終える子と四苦八苦する子とに別れました。経験の差が出ていたと思います。しかし誰も諦めることなく、集中して4本の釘を打つことができました。そして4本の釘を打ち終える頃には、どんな風に打つと金づちを通して釘に力が伝わるのかコツを掴みはじめていましたし、「できた！」という達成感を得ているのが見てとれました。この経験を活かして、トントンコーナーでも釘打ちを楽しめるといいな…と思います。



☆模様つけ☆

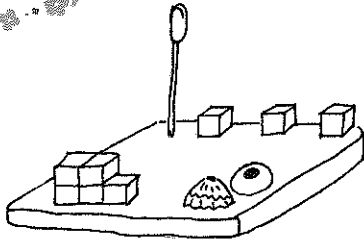
ビー玉画で模様を付けました。

以前に年中あつまりで取り組んだこともあり、手順はしっかり分かっていて、自信を持って仕上げていたように思います。何よりも模様がついていく様子に声をあげて喜び、楽しんでいたのが印象的でした。



年少あつまり

年少さんからのプレゼントは……



メモスタンド

&

クリスマスカード



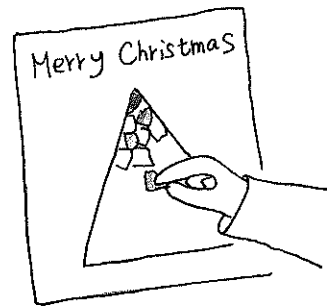
です

今年一年で様々なことができるようになった年少さんたち。大好きなおうちの方に向けて、心を込めてプレゼントを作りました。

クリスマスカードづくり

年少あつまりでは、七夕製作の際に使ったでんぷん糊。クラスではそれぞれ使う機会があっても、あつまりでは今回のカードづくりで久しぶりに使いました。糊の使い方の確認では、「知ってる知ってる！」と嬉しそうに頷く子どもたち。その姿からは自信が溢れていました。

今回のカードは、ちぎった折り紙をツリーの形に貼っていきました。なるべく隙間がないように貼るとキレイに出来るよ、と声を掛けたところ……びっくり！どの子も敷き詰めるようにして貼るということを意識していました。今年度のアドベントカレンダーのベルづくりで布の貼り方が経験として積み重なっているなあと感じた時間でした。



ピカピカの星を貼った後は、サインペンで飾り付け。

星や雪をイメージして描く子やクリスマスに因んだものを描く子、おうちの方の顔を描く子……素敵なカードが完成しました！

メモスタンドづくり、でもその前に!?

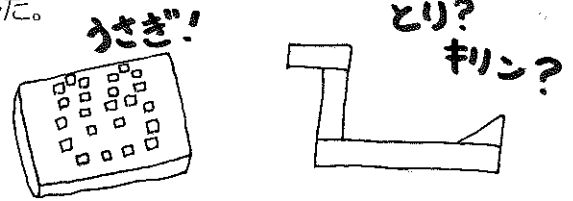
月一回程度自由遊びの時間に行われているトントンコーナー。釘やボンドを使いながら、自分のイメージを形にするという木工製作のコーナーです。

けれども、実は今年度の年少さんのコーナーの参加はあまり多くなく、全体の半分ほどです。一学期の年少あつまりで、年少さんだけでトントンコーナーの紹介は行ったものの、ひょっとしてトントンコーナーの楽しさが伝わっていない?? 年長さんや年中さんの勢いにちょっと遠慮している子もいる……???

そこで、年少あつまりでは、まず年少さんだけで遊戯室にてミニミニトントンコーナーを行いました。まずは木工製作の楽しさを知ってもらいたいと、残念だけれ

ど今回は釘打ちはお休み。ところが、遊戯室にやってきた子どもたちからは、「わあ！ トントンコーナーだ！」と歓声が上がりました。

土台となる板にどんぐりや布、木片を思い思いに貼っていく姿は真剣そのもの。自分のイメージを形にしていく楽しさを目いっぱい感じる事ができたようです。



そのミニミニトントンコーナーの楽しさを踏まえて、メモスタンドを作りました。今度は大好きなおうちの方へのプレゼントです。木工製作の楽しさに気づいた子どもたちからはワクワクした様子がありました。

コルクボードに、木片やウッドピース、今回は子どもたちとお散歩に行った際に使ったどんぐりや松ぼっくりなどの飾りを貼り付けていきます。作り方を聞く時、真剣な顔をしていた子どもたち。素敵なものを作ろうという意欲に溢れていました。どんぐりや松ぼっくりは、転がりやすかったり土台に接する面が少なかったりしてなかなかくっつきにくい……。悪戦苦闘しながらも、自分のイメージ通りにくっつけようとする子どもたちの姿が印象的でした。

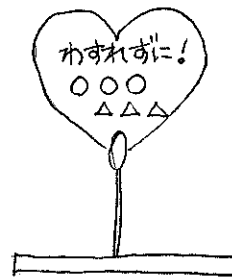
木片を高く積み上げる子、囲うように並べてみる子、あえて飾りをつけない余白を意識しながら作る子……。十人十色で思い思いに飾りました。

メモスタンドのクリップの位置を「ここに挿して！」と指定する子もいるほど、こだわりの作品が出来上がりました。

いつ持ち帰るのか、と子どもたちは楽しみにしていました。メモスタンドは、お気に入りのカードや写真を挟んでみてくださいね。



(ゆか)



* * * にじぐみさんのプレゼントは... * * *

「プレゼント」という言葉が大好きなにじぐみさん。園庭で拾ったきれいな葉っぱやハサミで切った切り紙を「ママにプレゼントするー！」と嬉しそうに持ち帰っています。そんな子どもたちに「皆は幼稚園でいろんなことができるようになったから、お父さんやお母さんに、皆からクリスマスのプレゼントをしてみようか。」とお話すると「するー！」と即答。しかも「クリスマスまでひみつだよ。」というと余計にワクワク♡プレゼントのテーマは“光”です。その全容をお知らせします。

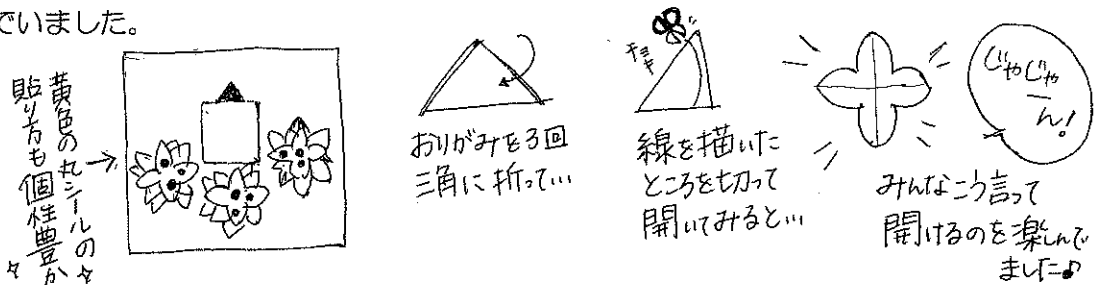
☆クリスマスツリーライト☆

白ボール紙にきりで穴をいっぱい開け、光が漏れるステキなツリーライトを作りました。穴が開いていないところにはお散歩で拾ったどんぐりをボンドで貼り付けました。立体に貼ることは難しく、それでも一つずつ「これはママの分、これはパパの分…」とおうちの方を思いながら、根気よく貼ることができました。子どもたちはおうちでライトをつけることをとても楽しみにしています。尚、セットの電池は試験用ですので、長時間使用できません。LR44 ボタン電池3個と交換してください。



☆キャンドル・ポインセチアのクリスマスカード☆

折り紙の折り方も上手になってきたにじぐみさん。線に合わせて折ることや裏を向けて折るなど、様々な工程も説明をよく聞いて一人でできる子も増えてきました。またポインセチアの切り紙も折ってから切ると「あら、不思議！」と大喜びで取り組んでいました。



ひとつひとつの経験が積み重ねとなり、子どもたちの自信と成長の証でもあると思います。“光”はイエス様の象徴でもあります。クリスマスにはおうちでライトを灯して、イエス様の誕生をお祝いしてくださいね☆

